

平成19年
2月

第1号

九州大学医学部附属病院
広報サービス委員会発行

九大病院だより



21世紀における 九大病院の役割

本院は、教育・学術研究・高度診療という基本理念とともに、地域医療の中核として、またアジアにおける中心的な病院としてその存在意義と役割は大きいと思います。国立大学が独立行政法人化されるとともに、必然的に本院も変革を迫られており、21世紀にふさわしい病院づくりが急務であろうと考えます。

今号は、本院の新棟開発計画と将来構想について、病院長にその所信を聞いてみました。

病院新棟開発計画について

—第Ⅰ期計画が完成して新棟（南棟）がスタートしていますが、Ⅲ期に分けて平成19年完成予定ですね。完成すれば、21世紀を生きる近代的な病院に生まれ変わる訳で、その施設の概要をお尋ねします。



病院長 なわ た はじめ 名和田 新

プロフィール

平成14年4月から本院病院長に就任。
専門分野は内分泌代謝・糖尿病学、
老年医学、分子遺伝子学。

2面へつづく...



コ
ラ
ム

つつい手を振る恥ずかしい癖

帰り支度を整え冷たい夜気に触れると、一日の仕事が終わった感じでほっとします。その日の夜も、臨床研究棟の正面玄関を出ると、大きなあくびをしながら夜空を眺めました。下から見上げると澄んだ星空に新病棟の南棟の各フロアの照明が映えてとてもきれいです。特に食堂の円形フロアの灯りが暖かくほんわかしています。外の景色を眺めている患者さんの人影もちらほら見えます。ちょうどその時、あくび涙でぬれた私の視線と、9階あたりで外を眺めておられた患者さんの視線が何とはなしに出合った感じがしました。幼い頃からバスやフェリーなんかに乗っていると、道路にいる歩行者や他の船の乗船者に



皮膚科長 ふる え ますたか 古江 増隆

MESSAGE from Masutaka Furue

つつい手を振ってしまう癖があります。もちろん恥ずかしいのでいつもはその衝動を抑えているのですが、その夜はボーとしていたこともあり、とっさに手を振ってしまいました。するとほるか向こうの人影も即座に手を振って下さるではありませんか。そればかりが横からもうお一人も加わり、10秒ほど3人で手を振っていました。

あの時の患者さんたちはもうお元気に退院されたことでしょう。このコラムを外来で読まれるかもしれませんね。お二人ともつつい手を振る恥ずかしい癖をお持ちなのですね。お陰様で肩こりがとれた気がしました。

引き続き



●病院新棟完成予想図

名和田 全体計画として地上11階、地下1階、延べ床面積11万8千㎡をⅢ期に分けて、平成19年までに立ち上げます。外科系のⅠ期計画620床が完成して利用が始まっていますが、現在建築中のⅡ期工事は内科系の688床で、本年10月より歯学部附属病院、生体防御医学研究所附属病院と統合しますので、これに歯科の40床が加わり、最終的には1348床になります。Ⅲ期計画は外来棟になります。

設備や機能も高度先進医療に対応できるように最新医療機器類を設置しますし、外科系の手術台20台、ICU（集中治療部）20床は大学病院の中でもトップクラスです。また、ロボット医療や遠隔治療などの先端医療技術も導入します。さらに、新年度に遺伝子・細胞治療部を新設します。これはがんや動脈硬化の遺伝子治療、細胞治療、免疫治療、骨髄から採取した細胞を使った血管新生、将来の再生治療などを旨とした高度先進医療を集めて研究の効率化、高度化を目指します。

将来構想について

—国立大学が独立行政法人化され、本院も改革が迫られるわけですが、どんな病院になるのか、将来構想をお聞かせ下さい。

名和田 ご承知のように大学病院は教育、研究、医療という三大目標があります。本院は病院新棟建設をきっかけに将来構想を考えました。その基本理念は、医学研究の推進による専門医療の高度化、医療の包括性と継続性を目指し、プライマリケアの充実、患者さんに即した卒前卒後教育を可能にする病院、地域医療との連携および貢献、国際化の促進です。

例えば研究では基礎と臨床の壁を取り払い、基礎のデータを臨床の診断・治療に役立てる民間医療を進める臨床研究センターを作り、診療では地域医療に貢献できるように地域医療連携室を整備・充実させ、教育では医師に限らず看護師、コメディカルの方々の医療従事者全部の卒前卒後を教育する研修センターを立ち上げます。九州・アジアをリードする高度先進医療を進め、地域医療を支援する病院づくりが目標です。
(次号へつづく)



ご意見箱から

昨年12月19日、患者サービス専門部会としては、初めてのクリスマスロビーコンサートを開催いたしました。なにぶん不慣れなものでお見苦しい所も多々あったかと思いますが、患者様やご家族より暖かい励ましやお礼のお言葉を頂き、これを助みに今後とも患者サービスの向上に努めてまいります。



●ロビーコンサートの様子

今回は患者様のご家族のお手紙をご紹介します。— (節) 今年主人の入院生活が永くなり、私もその付添でいっしょに病院生活となっております。この数ヶ月は外気にふれることも少なくなっておりました。そんな時に、今日のクリスマスコンサート、うまくその時間に行けたらいいなと思っておりましてところ、主人が“行っておいで”と言ってくれましたので、急いで会場に向かいました。

残念ながらICUの看護婦さんの天使の歌声は続わったばかりでした。(略) お声は聞けなかったのは誠に残念でした。二部の九大コーラルアカデミーの方々のハーモニーの美しさには、心洗われる思いでした。そして三部の学生さんたちの歌声や演奏を聞いているうちに、胸が熱くなり涙が出てきました。なぜだかわかりませんが……。本当に有難うございました。また頑張って主人の世話が出来ます。思いがけないクリスマスプレゼントでした。一生忘れられないプレゼントになったと思います。お世話して下さいました方々にお礼が言いたくてペンをとりました。残念ながら主人と一緒に聞けませんでした。私一人聞かせていただいた分、優しくしてあげればと思っております。

(匿名のお手紙でしたので、無断で活字と致しましたこととお詫びいたします。)



病院
地区

建物紹介

【医学部百年講堂】

病院地区の情報発信地をめざして

本学医学部創立100周年記念事業のひとつとして、本院外来棟前に「百年講堂」が建設されました。大ホール(600席)、中ホール(3室、各198席)の他、会議室、応接室があり、広く高い吹き抜けのある交流ホールもあります。多くの学会や研究会に利用していただき、病院地区の情報発信の中心地になることを期待しております。見学ご希望の方は、本学医学部創立百周年記念事業後援会事務局(092-642-6023)にお問い合わせ下さい。



●百年講堂外観

ご意見・ご感想をどしどしお寄せ下さい!

外来診療日一覽

ご用件がありましたら、下記の診療科等に直接お電話下さい。(市外局番は「092」です)

階	科名(電話番号)	初診日	再診日
1	総合診療部 (642-5914)	月～金	月～金
1	内科(初診) (642-5300)	月～金	月～金
2	内科(再来) (642-5302)		
2	心療内科 (642-5335)	月・木	火水金
2	神経内科 (642-5349)	火木金	月・水
2	循環器内科 (642-5371)	月～木	月・水
2	呼吸器科 (642-5388)	月・水	月・火 水・金
2	産科婦人科 (642-5409)	火・木	月～金
2	周産母子センター (642-5900)		
2	小児科 (642-5430)	月～金	月～金
1	第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金
1	第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金
1	整形外科 (642-5504)	月・水・金	金
2	脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金

階	科名(電話番号)	初診日	再診日
2	心臓外科 (642-5565)	月・木	月・木
2	小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金
2	皮膚科 (642-5596)	月・水・金	火・木
2	泌尿器科 (642-5615)	月～金	月・水・金
1	精神科神経科 (642-5640)	火・木	月水金
1	眼科 (642-5660)	月・水・金	月～金
2	耳鼻咽喉科 (642-5681)	月～木	月水金
1	放射線科 (642-5705)	月・水・金	月～金
2	麻酔科蘇生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金

※〇印の曜日は予約が必要です。

診療施設等	電話番号
救急部受付	642-5873
時間外受付	642-5163
総合外来受付	642-5138
入退院受付	642-5149
医療福祉受付	642-5166
収入掛	642-5169
リハビリ受付	642-5862

- 休診日…土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12/29～1/3)
- 受付時間…8:30～11:00
- 外来玄関開閉時間…7:00～18:00

注

- 予約があるときはこの限りではありません。
- 再来の方も、1年以上間をおいて受診される場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診料「外来」にお確かめ下さい。

 保険証がないと保険の取扱いができません。

ご意見・ご感想は ibskikak@jimu.kyushu-u.ac.jp

電子メールまたは外来棟玄関の「ご意見箱」をご利用下さい。

